

新刊書紹介

竹中正夫著『C・B・デフォレストの生涯

―美と愛の探求―

(創元社)

二〇〇三年四月二十日、一冊の本が創元社から出版された。タイトルは『C・B・デフォレストの生涯―美と愛の探求』、著者は神戸女学院理事・同志社大学名誉教授の竹中正夫先生である。

竹中先生は、去る二〇〇〇年十月二十日の神戸女学院創立一二五周年記念講演の依頼を受けた時、デフォレスト先生のことを思い浮かべられた。そして先生のことを「偉人としてではなく生身の一人の人間として」伝えたいと学内外の史料にあたり、同窓生を全国に訪ねて、講演にのぞまれた。(講演の内容については全文を『学院史料』第十八号に掲載しているので、そちらをご覧ください。)

講演会のためにデフォレスト先生を研究され、その人柄、生き方に深く魅了された竹中先生は、講演会終了後、デフォレスト伝を執筆する決意をされた。神戸女学院と同じアメリカカンボードによって創られた同志社大学の出身であり、牧師でもいら

っしゃる先生は、伝道会や宣教師のことについても造詣が深い。この本執筆のためのアメリカでのさらなる史料収集によって、今まで見ることでできなかったデフォレスト先生の直筆の手紙やマンザナでの活動、ビルグリム プレイスでの先生の様子などが明らかになった。

この本は七章からなり、総頁数二六一頁。デフォレスト先生に向けられた竹中先生の暖かいまなざしが感じられる文章を通して、私たちはデフォレスト先生と出会う。特に、「日米関係の最も不幸な時代に、両国の最も美しい関係を体現したデフォレスト先生」(『学報』第一三九号、松田高志先生による書評より)が描かれている箇所に、先生の神に対する信頼つまり信仰と日本人への深い理解と愛情を感じ、また、先生の実見とその根底にある愛神愛隣の教えの確信に共感を覚える。「私たちの国籍は天にある」(ピリピ三章二〇節)―帰院後、最初の礼拝で語られた聖句と伝えられる一節は、まさにデフォレスト先生の生き方そのものであろう。(なお、二〇〇四年二月二十二日、NHK教育テレビ「こころの時代」の時間にデフォレスト先生のことを取り上げられたことをつけ加えておきたい。タイトルは「国籍は天にあり―C・B・デフォレストの生涯から」である。)

(佐伯裕加恵)